

午後 試験

問 1

出題趣旨

我が国は、欧米先進国と比較して、労働生産性（一定の労働コストに対する生産高の比率。以下、生産性という）が低い。しかし、日本の企業の中にも、情報技術を活用して高い生産性を達成している企業も出てきている。システムアナリストには、情報技術を活用して、生産性向上を実現する新たな業務モデルの定義を行うことが期待される。

本問では、生産性向上のために、情報技術を活用した業務モデルの定義に取り組んだ経験を、工夫したこととともに具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアナリストに必要な、業務の見直し、業務モデルの定義の経験と能力を評価する。

問 2

出題趣旨

業務革新を伴うシステムの導入では、関係者間での意見の相違や利害の対立がある場合も多い。システムアナリストは、情報システムの構築を支援することと併せて、業務革新を支援するチェンジマネジメントを実施する。

本問では、システムアナリストが、チェンジマネジメントをどのように進めたかを、チェンジマネジメントが必要になった理由、重要と考えた点や工夫点とともに具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアナリストに必要な、業務革新を支援する能力や、経験・洞察力・行動力などを評価する。

問 3

出題趣旨

システム化全体計画は、中長期のシステム化の方向を明らかにするものであり、システムアナリストは、計画策定の中心的な役割を果たす。

本問では、システム化全体計画の策定に際して重要となる、実施すべき個別システム化案件のシステム化の範囲や方法、開発体制、開発スケジュールを全体的にとらえて、効率が良く、効果的なシステム化全体計画にするための様々な検討、工夫を具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアナリストに必要な、システム化全体計画の策定能力、経験及び行動力を評価する。